

心の栄養を補給して充実した毎日を

Fuel your soul and have a fulfilling everyday life



高橋明子 *

年末年始の時季を迎え、家族と過ごしたり、久しぶりに友人と連絡を取り合ったりする時間を持つことができました。おいしい食事を囲み、近況報告やたわいない話をする時間は、心を穏やかにします。また、旅行やスポーツなどは、体力的に疲れはするものの、心躍る体験につながります。このような心の栄養が普段の活力になります。

近ごろ、同世代の方とは「体力の衰え、身体の変化」の話題がよく挙がります。身体の変化に加え、仕事や家事などすべきことは増えるいっぽうで、それらを列挙していると憂鬱になりがちです。心の栄養を補給し、楽しく挑戦する気持ちを忘れないようにしたいです。「思い立ったが今!」、「今が一番若い!」と自分を鼓舞し、新しいことにチャレンジして、仕事も生活も充実した毎日にしていきたいです。

さて、年末年始の話に戻りますが、この時季は帰省や同窓会なども行われるのではないのでしょうか。教員として研究室運営に携わると、卒業生が同窓会を開催していると嬉しくなります。研究室で過ごした時間が、彼、彼女らにとって思い出深く、少しでも良いものになっていればと思います。大学生・大学院生は、社会に出る前の経験や友情などをはぐくむ貴重な時期です。成功も失敗もすべてが今後の糧となります。人生の趣味を見つけることもあるでしょう。心の栄養を補給し、多くのことに楽しく挑戦してもらいたいです。かけがえのない時を、研究室で共に過ごせることに感謝しつつ、彼、彼女らの成長と今後益々の活躍を期待しています。

これからの未来はどのようになるのでしょうか。日本は四季があり、いつも歩いている道も季節により見え方が異なり趣深いです。四季折々の風景や食も、人生の楽しみの一つです。季節を感じる趣味をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。しかし、近年の地球温暖化の影響により、四季がなくなるともいわれています。確かに、夏の期間が前後に延び、春と秋の過ごしやすい時期は短くなったように感じます。また、毎年のように最高気温の更新を知らせるニュースや、集中豪雨、集中豪雪、台風の強暴化な

どが報じられています。他方、日本国内の多くのインフラは、建設から50年以上が経過し、急速に老朽化が進行しています。食糧不足や世界情勢の不安定化など、世界レベルで取り組むべき課題も山積しています。人口減少下の日本において、どのようにどのようなインフラを維持するのか、今後の生活スタイルを模索しながら取り組んでいく課題と考えています。

私は太陽光発電システムや電力システムを対象に研究しており、まさにこの大きな課題の一部に取り組んでいると自負しています。太陽光発電システムと蓄電装置（蓄電池、電気自動車、水素など）を利用したエネルギーマネジメントや、地域ならではの気象条件や生活スタイルを考慮した運用法、機械学習を用いた日射量計測・予測などを行っていますが、課題はまだ多く、やりがいのあるテーマだと考えています。これからの未来に貢献できるよう尽力していきます。そのためにも、専門分野だけでなく、幅広い学術分野との融合・意見交換が必要だと考えています。本学会に参加し、皆様と議論を重ねることは研究において活力になります。また、学生にとっては、視野を広げる機会になります。是非一緒にご議論いただき、研究はもとより、趣味や心の栄養補給法など、学生との交流を一つの楽しみとしていただけたら幸いです。

最後になりましたが、2024年は元旦に発生した能登半島地震、その後も豪雨による自然災害など、被害に遭われた皆様に心よりのお見舞いを申し上げます。一刻も早い復旧・復興とともに、一日も早く平穏な日常が戻りますようお願い申し上げます。

* 福井大学学術研究院基盤部門 / カーボンニュートラル推進本部
特命准教授 日本太陽エネルギー学会 理事